

# 子宮筋腫



WANPUG

しきゅうきんしゅ

## 子宮筋腫とは

子宮の筋肉（平滑筋）の中に**こぶの様な塊**ができることがあります、これを子宮筋腫と呼びます。子宮筋腫は成人女性で、月経のある年齢層に見つかる場合がほとんどです。一般的に、成人女性 10 人中 2～3 人に子宮筋腫が発見されると言われています。

## 子宮筋腫の妊娠への影響

妊婦さんに子宮筋腫が発見されることも決してめずらしくありません。



妊娠中はホルモンの働きによって子宮が大きくなると同時に、子宮筋腫も大きくなる場合があります。



子宮筋腫のほとんどは、症状がなく経過します。時々、筋腫が変性し大きくなったり、内部に感染したりすることで、痛みや子宮収縮の原因となることがあります。



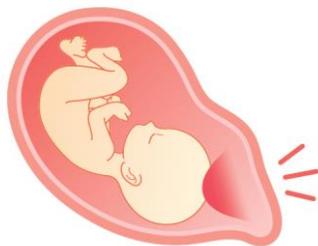
**急にお腹が痛くなる**ような時は、病院を受診してください。

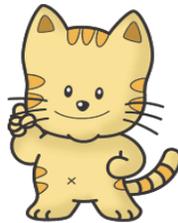
子宮筋腫による痛みは、自然に軽快することもあります。しかし、鎮痛薬が必要となることもあります。週数に合わせて使用できる鎮痛薬を処方しますので、ご相談ください。



## 子宮筋腫の分娩・産褥への影響

子宮筋腫があるからといって、分娩方法は帝王切開となるわけではありません。多くの場合、子宮筋腫があっても、赤ちゃんは子宮筋腫を超えて下がってくることができます。しかし、子宮頸部(子宮の出口)にある大きな筋腫では、帝王切開が必要となることがあります。また、子宮筋腫を摘出した後の方は、分娩方法が帝王切開となることがあります。また、サイズの大きな子宮筋腫では、分娩後の子宮収縮が不十分となり、出血が多くなる場合があります。





地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

<産科>

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605

2022.8 更新